

2023年度安芸高田市公共交通協議会 議事要旨

〈日 時〉 2024年3月25日（月）14:00から15:30まで
〈場 所〉 安芸高田市役所 221会議室
〈委員総数〉 18名
〈出席委員数〉 14名

1. 開会

2. 協議

【協議1】曾我神社線 土曜日ダイヤ改正について

（事務局から説明）

＜質疑応答・意見＞

事業者：この路線の運行を担当している。2024年問題によりドライバーの拘束時間を短くする必要がある。今回の変更により土曜日の運行も実施可能だが、仮に1人で1週間路線の運行を続けた場合、土曜日だけでも無理がある。平日も毎日1時間オーバーしてしまうため、2人体制での運行とするつもりだが、人手不足で運行は厳しい状態である。1週間で65時間になり、約半日分オーバーしている。13時間超える場合は続けてやっちはいけない。2人で割って他の仕事と組み合わせて凌いでいこうと考えている。

会長代理：利用者の少ない土曜日というのものもあるが、利用状況をみながら検討しないといけない。

事業者：土曜日の利用状況はどうか、どういう人が使うのか。

事務局：高校生が部活に利用している。利用状況は0～1人である。4月になって生徒が変わるとまたどのような状況になるかわからない。

事業者：ダイヤを決めたらその通りにやると思うが、利用者にもこの問題を考えてほしい。利用者はほとんど学校の人であるため、例えば部活動を30分早く切り上げてもらうなどしないと、将来やっていけないと思う。

会長代理：変更の周知はこれからなのか。

事務局：周知はこれからである。

会長代理：周知をしっかりとしておく必要があると思う。

他に質問等はないか。

委 員：その他意見なし

結 果：提案のとおり承認

【協議2】安芸高田市地域公共交通計画の改訂について

（事務局から説明）

会長代理：利便増進実施計画の詳細点を、地域公共交通計画に反映したのが修正点だ。前回の協議でも話した内容だが、詳しくはこの後の利便増進実施計画でも出てくる。修正点の内容については次の議論でしていただきたい。それ以外で質問等あるか。

委 員：意見なし

会長代理：それでは一旦保留し、利便増進実施計画の説明を聞いていただき、こちらに戻る。

【協議3】安芸高田市地域公共交通利便増進実施計画について

（事務局から説明）

＜質疑応答・意見＞

会長代理：路線変更の実施予定日は2025年4月1日か。

事務局：その日を目指して関係者と協議をしていきたい。お太助バスの運行がなくなるエリアでは、カバーするのがお太助ワゴンになる。お太助ワゴンは今は各支所から吉田中心部へ集まっているが、見直し後は吉田と八千代、美土里と高宮、甲田と向原など、

2町またいだ運行を想定している。支所が乗り継ぎの拠点になるので、そこまでお太助ワゴンで行き、お太助バスに乗り換えて中心部までになる。可能であれば市内全域で同時に切り替えを行いたい。難しければ、例えば北部エリアだけ先行的に切り替えるなど想定しながら対応したい。

会長代理：各地域へ行くと、支所より先はワゴンに切り替わるのが大きな変更点になる。それについて気を付けてほしいことなど意見等はあるか。

委員：町を度外視して路線ごと乗車可能としてはどうか。

事務局：区域運行と路線運行で、運輸局への申請が別になる。お太助ワゴンは路線に関わらず、枝分かれしているところもすべて拾うことを目的とし、区域運行をしている。

委員：昔の旧町の考え方だとそうなるが、安芸高田市を一体ととらえて路線としても良いのではないか。

会長代理：利用状況をみながら、現実的なところがどうなのか、効率的なのかを見ていく。その他はないか。

事業者：お太助ワゴンの再編は、理想的に経費が減っていくと思った。利便増進計画は、どの辺りの人が利便増進になるのか、どのような人が新たに乗るのか疑問に思った。また、2025年実施時に、現状のダイヤを想定しているのか。当社としても、再編を予定している。当社として再考の余地があるのか。

事務局：まず1点目の利便増進になるのかについて。都市計画マスタープランの中で、将来的には吉田中心になるが、まずは各旧町まで行けるような仕組みづくり、公共交通手段を確保していくという意味合いで、お太助ワゴンにより旧町単位まで行けるようにすることとしている。将来的には吉田中心になるので、それを睨んで支所と中心部を結ぶという考え方だ。一気に吉田中心部へ持っていくと旧町が廃れてしまう。旧町の機能を維持していきたいと考えているので、一旦旧町単位で残していきたい。ダイヤのほうは、JRとか広域の路線バス、高速バスの方が先にダイヤが改訂されるので、それに合わせたダイヤを考えていきたい。それを受けてからの対応にならざるを得ない。

事業者：基本的には域内の路線の再編となっており、高速バスとの連携もうたわれており、異論はない。上根吉田線については、維持が難しい状況となっているため、路線の見直しや財政支援について検討いただいていた。4月のダイヤ改正では、利用状況を踏まえて、減便を実施させていただく。今後、路線の見直しも検討が必要となるが、この点については、広島市との協議も必要となってくる。現在、8社の広島市のバス会社今後の再編に向けた検討を行っている。上根吉田線については、検討の段階で計画にも掲載いただきたい。

事務局：時間帯によっては上根吉田線のハブ&スポークを検討している。将来的には可部駅での広島のほかの方面への乗り継ぎも検討していく。今後、乗継割引についても検討していく必要がある。

事業者：デマンドにしていくということに関しては、どれくらい持続可能なのかという点や、運転手の問題、システムの問題などで何か悩みがあればお伺いしたい。JRでもWESTERやAIオンデマンドなどの連携を検討しているということもあり、何かタッグを組めないかと考えている。

事業者：現状では、人手不足が課題である。現状の体制であれば、あと3年できるかどうかというところではないか。60歳で入ってくれば、その人は若いほうになる。例えば、65歳で他の事業者を退職された方もこられるが、それでも比較的若い方である。

事業者：皆さん二種免許を持って入社されるのか。

事業者：そうである。ただ、大型を持っていない方もいる。60台の方であれば、2種の取得を推進している。19人のドライバーと21台の車両があるが、ほぼ毎日稼働している。

広島県：車両の小型化については、広島県でも補助施策を検討している。参考にされたい。

会長代理：【協議2】【協議3】については、了承いただいたことでよろしいか。

委員：異議なし

結果：【協議2】【協議3】提案のとおり承認

3. その他

広島県地域公共交通ビジョンについて
(広島県から説明)

4. 閉会